

# CRCプロ・ストラット・フロントエンドの組み立て



この説明書はカーベットナイフ・ジェネレーションXの組み立て説明書からフロントエンド組み立ての部分を選択して再構成したものです。

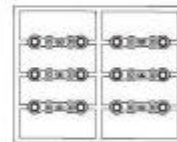
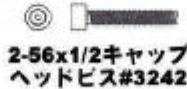


**kimihiko-yano.net**

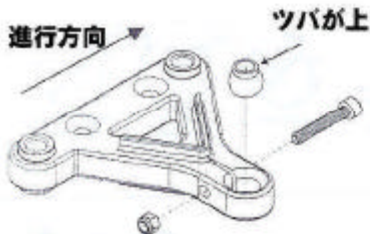
この説明書の内容はkimihiko-yano.netの著作物です。いかなる場合でも全部、一部を問わず配布、複製、その他商用利用を禁止します

## CRCプロ・ストラット フロントエンド の組み立て1/2

**Bag F(FE)**



ライドハイ  
トスペーサー  
#3233

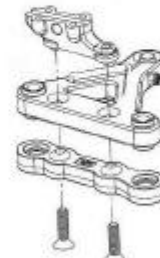


右側のロアアーム

1. ドライバーの柄などにて#3246ピボットボールをロアアームに押し込みます。このとき別売の#4279スチール・ボール・ポッパを用いると簡単に作業できます。ピボットボールはツバが上向きになるよう取り付けてください。おなじように反対側のロアアームにもピボットボールを取り付けます（パーツの向きに注意。ロアアームは左右共通パーツです）
2. 左図のように2-56x1/2キャップヘッドビスを取り付けます。2-56ロックナットでネジを締めることでクランプが閉じます。これによってピボットボールの動きを調整することができます。ピボットボールが自由に動くように調整します。少しきつめに調整するのがポイントです

\*ピボットボールが摩耗するとクランプの再調整が必要です。走行後チェックをおこなうようにしましょう。

1. 右図のようにアッパーアームマウント（キャストブロック）をロアアームに取り付けます。図では0度のダイナミック・キャスターを使っています。キットには0、5、10度のダイナミック・キャスターブロックが付属します。一般的に大きな角度のキャストブロックを用いるとコーナリング初期の反応が向上します。



2. ライドハイトスペーサーとロアアームを右図のように固定します。ネジは4-40 x 7/16皿ビスを用います

この要領で左側のロアアームも製作してください

# CRCプロ・ストラット フロントエンドの 組み立て2/2

Bag7(FE)



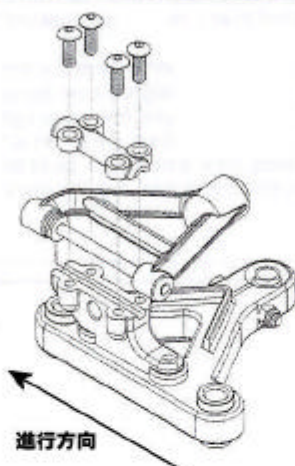
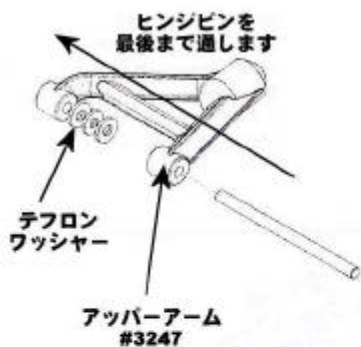
ヒンジピン  
#3245



テフロン  
ワッシャー  
#1253



2-56ボタン  
ヘッドビス  
#3254



同じ要領で左側のアッパーアームを製作します

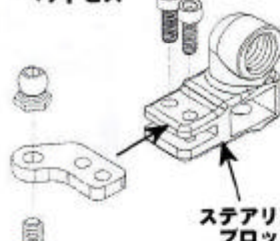
1. #3247アッパーアームをパーツ・ツリーから切り取ります。バリなどがあればカッターで取り除いてください
2. 図のようにアッパーアームに#3245ヒンジピンを通します。このとき3枚のテフロンワッシャーもヒンジピンを通しておきます。
3. アッパーアーム一式をキャスターブロックに取り付けます。このときテフロンワッシャーをどこに配置するかで初期キャスター角が決定されます。左図のようにすべて前側に配置すると初期キャスター角は少なくなります（一般的にはニュートラルな特性となります）。逆に後側に配置すると初期キャスター角は多くなります（一般的にはコーナリング中盤から後半にかけてアグレッシブステアリングとなります）

\*テフロン製ワッシャーは金属製ワッシャーに比べて精度が低いためアッパーアームを取るつけたときにきつく感じる場合があります。この場合はワッシャーを少し削るなどのクリアランス調整が必要になります。

4. アッパーキャップを4本の2-56ボタンヘッドビスで固定します。締めすぎるとキャスターブロックが壊れてしまうので注意してください。



2-56キャップ  
ヘッドビス

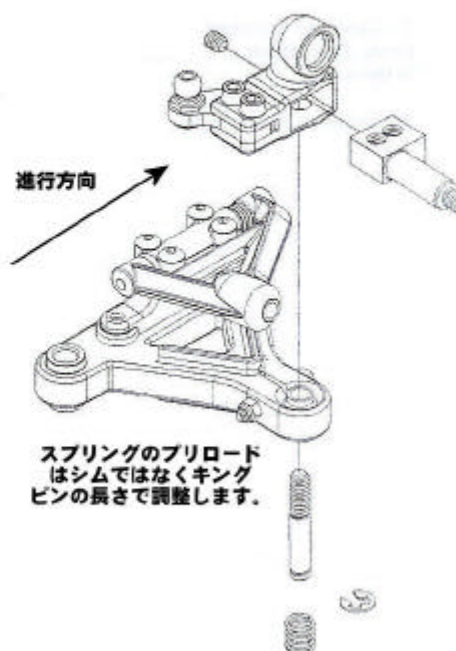


1. 左図のように左右のステアリングブロックを組み立てます。ロープロファイルボールは4-40ボタンヘッドビスでカーボン製ステアリングアームに取り付けます
2. ステアリングアームをステアリングブロックに差し込み、2-56キャップヘッドビスで固定します。ネジの締めすぎに注意してください。

4-40ボタン  
ヘッドビス

1. #3235デュアルアクスルをステアリングブロックに装着します。デュアルアクスルを図とは逆に取付けるとアクスルが進行方向側に移動しインラインアクスルとなります。インラインアクスルにするとステアリングのレスポンスが向上します（しかし1/12レーシングでは一般的に図のようなトレーリングアクスルを用品）
2. #3250キングピンをロアアーム下側からビポッドボールに挿入します。そしてステアリングブロック内のデュアルアクスルにおねじ込みます。少し抵抗を感じるまでキングピンをねじ込みます。
3. 次にスプリングをキングピンに通します。スプリングのプリロードはキングピンの長さで決定されます。Eリングの溝とスプリングの下端を一致させたければそうなるようにキングピンの長さを調整します。キングピン下端にEリングを装着します。
4. キングピンの長さを調整したら4-40イモネジをデュアルステアリング横からねじ込みキングピンを固定します。

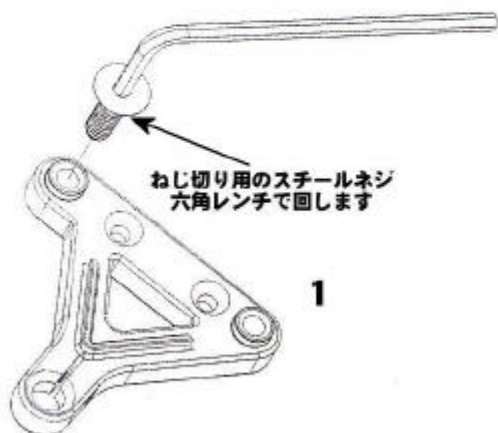
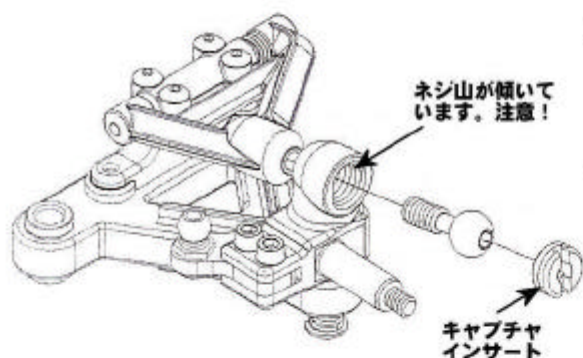
\* 同じ要領で左側のキングピンも組み立てます



1. #3244アッパーボールを左図のようにステアリングブロックに入れ、さらにアッパーアームにねじ込みます（真っ直ぐねじ込めるよう慎重に作業しましょう）

2. 次に樹脂製のキャブチャ・インサートをステアリングブロックにねじ込みます。ステアリングブロックにはキャブチャ・インサート固定するためのネジ山が設けられています。このネジ山はすこし下に傾いているため取り付けには注意してください。

3. キャブチャ・インサートを最後までねじ込むとステアリングの動きがすこし重くなります。これはキャブチャ・インサートをねじ込み過ぎたことを意味します。この状態で左右にステアリングを動作させてください（約1分繰り返します）。これでキャブチャ・インサートの「慣らし」がおこなわれます。「慣らし」が終わったらキャブチャ・インサートをほんの少しだけ緩めてください。ガタが無くステアリングがスムーズに動作するようにキャブチャ・インサートを調整します。同じ要領で右側も組み立てます



完成したロアアームをメインシャーシに取り付けますが注意点があります

ロアアームの穴はわざと小さく作られています。これによって従来のロアアームより強固に固定されるようになります。従って初めてロアアームを取り付けるときかなりの力が必要になります。いきなりアルミ製ビスで取り付けようとするとネジが壊れてしまうことがあります。この問題を避けるためキットには「ねじ切り用」のステンレスビス（銀色）が付属します。メインシャーシにロアアームを取り付けるまえにステンレスビスでロアアームにネジ山を設けてください。

1. 「ねじ切り用」のステンレスビス（銀色）でロアアームにネジ山を設けます。

2. #12392 8-32皿ビスでロアアームをメインシャーシに固定します。

3. アルミ製ビスは大きな力ですぐに破損してしまいます。ネジの頭やネジ山を壊さないよう注意しましょう。

4. 同じ要領で反対側のロアアームを組み立てます

